

FAIRFAX

— class A output stage drive —

USER MANUAL

Fairfax は、2 台目の真空管アンプを強力にオーバードライブするために設計された初期のクラス A 真空管アンプを踏襲したモデルです。

完全アナログのディスクリート回路により、コンパクトな筐体ながら、クラシックでハイゲイン、サスティーンの効いたアンプトーンを実現します。

Fairfax は、+/- 20V 電源レールで動作するデュアル JFET プリアンプを採用し、非対称クリッピングと低次倍音を維持しながら、最大限のダイナミックレンジを実現します。

プリアンプは、ディスクリート・シングルエンド・クラス A パワーアンプ段に送られ、SAG コントロールによってパワーアンプ駆動時のパワーレールサグ量を調整します。

最後に、信号はアナログ出力トランス・シミュレーターを通過し、低周波域で真のトランスサチュレーションが得られるよう綿密に調整されています。

FAIRFAXの特長

- 真空管アンプの回路を100%アナログで完全再現
- カスタムアナログ回路により、複数の真空管ステージと重要な出力トランスを再現
- ガルバニック絶縁電源により、入力電圧は内部で40Vに変換
- ドライブ、レベル、可変サグコントロールのコントロールを搭載
- ブライトスイッチで高域特性を微調整可能
- ナチュラルなサウンドと真空管アンプライクなゲインレンジで、幅広い用途に対応
- サグ回路により、低設定ではマイルドなサグ効果、最大設定ではスピットやゲートサウンドを実現
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

BYPASS / バイパス

トゥルーバイパス (エレクトロメカニカル・リレースイッチング)

S/N: 114 dB typical

POWER SUPPLY / 電源

入力電圧: 9VDC (標準 2.1mm センターマイナス)
最小電流: 500mA

SIZE / 寸法

71.9mm(幅) × 115.1mm(縦) × 59.2mm(高)

ユーザーサポート

製品の詳細はこちら

<https://allaccess.co.jp/strymon/fairfax/>

テクニカルサポート窓口

support_rs@allaccess.co.jp



DRIVE

プリアンプのゲイン量を調整します。レベルコントロールと連動することで、アンプをどのようにドライブさせたいかを緻密に決定できます。クランチサウンドを効かせたり、クリーンブーストとして使ったり、その中間のサウンドにすることも可能です。

LEVEL

ペダルの出力レベルを設定します。他の2つのノブの設定に関わらず、低い設定ではアンプへの出力信号が減少します。

SAG

サグ回路の動作を微調整できます。サグの量は、パワーアンプセクションへの送出レベルと演奏スタイルの両方に依存します。これは完全にダイナミックなコントロールであるため、軽い演奏では高い設定でもサグ/コンプレッション特性がほとんど変化しない場合があります。一方、太い弦で強く弾くと、ポット値を低くしてもノイズが増える可能性があります。

BRIGHT

2ポジションのトグルスイッチで、高域の輪郭を調整します。

- » **off:** スwitchを「オフ」にすると高域が若干減衰され、周波数特性が滑らかになります。
- » **on:** 「オン」に設定すると、高周波数はそのまま残り、高音が増した明るいレスポンスが得られます。

FOOTSWITCH

エフェクトのオン/オフを切り替えます。オレンジ色のLEDが点灯している場合は、ペダルがオンになっています。



INPUT

1M Ohm / ハイ・インピーダンス JFET バッファ付きモノラル楽器入力。(最大入力レベル: +20dBu)

OUTPUT

100 Ohm / ロー・インピーダンスのモノラル出力。

9VDC

9VDC、センターマイナス、最小500mA 定格のアダプターを使用してください。※重要！9VDCを超える電圧はペダルを損傷する可能性があります。

内部ジャンパースイッチ

本体内部には、電源投入時の状態を設定する内部ジャンパースイッチが搭載されています。

- » **Bypass:** 両方のジャンパーを右の位置にそれぞれ移動します。
- » **on:** 両方のジャンパーを左の位置にそれぞれ移動します。Fairfax をペダルループスイッチャーと併用する場合、電源投入時に自動的に電源がオンになるように設定できます。

